

陸奥新報

3月24日
土曜日

©陸奥新報社2018

〒036-8356 弘前市下白銀町2の1 ☎0172-34-3111(代表) www.mutusinpou.co.jp

森林学びの場に

津軽管理署と白神自然学校一ツ森校

鱈ヶ沢 国有林 「遊々の森」協定締結



東北森林管理局・津軽森林管理署（弘前市、唐澤智署長）とNPO法人・白神自然学校一ツ森校（鱈ヶ沢町、永井雄人代表理事）は19日、同町の矢倉山国有林10・40杉を、「遊々の森」とする協定を締結した。「遊々の森」制度は協定書に調印し、握手を交わす唐澤署長（左）と永井代表理事

林野庁が進める「国民参加の森林づくり」事業の一環。民間団体などと協定を結ぶことによりその団体が、対象の国有林で、さまざまな体験学習などの活用ができるようになる。県内で結ばれた協定は、今回で12団体・13カ所目となった。同校での調印式で、唐澤署長と永井代表理事が協定書に調印。唐澤署長は「しっかりと森を使って、林業の大切さを広くPRしてほしい」と述べた。今回対象の国有林は、主に22年ほど前、人工的にスギが多く植えられた

場所。永井代表理事は「地元としては、スギは雇用創出などの役割も果たしている樹木。同校は来年度から、5〜10月ごろに対象国有林でイベントなどを開く予定。」と期待した。（盛植央）

6社が商品アピール

青森商議所 会員企業発表会



各企業の担当者が自社の商品・サービスを紹介した発表会

青森商工会議所（若井敬一郎会頭）の合同発表会が20日、同市の会員企業6社がそれぞれの商品、サービスの魅力をアピールした。